

昭和医科大学におけるオーサーシップ・ポリシー

本学では「昭和医科大学研究活動における行動規範」を定め、研究者の倫理意識の向上と研究の責任ある遂行、ならびに研究活動における不正防止に努めることとしている。

今回、適切なオーサーシップを学内に喚起するために全学的に共通するポリシーとして医学雑誌編集者国際委員会(ICMJE)医学雑誌への投稿のための統一規程におけるオーサーシップについて一般財団法人公正研究推進協会(APRIN)による和訳を示す。

なお、論文作成時は著者それぞれの研究の貢献内容と責任の範囲を書面で残すこと。

【ICMJE 統一規程オーサーシップ(APRIN による和訳)】

論文著者として名前が掲載されるためには、以下の1)～4)のすべての項目に該当しなければならない。

- 1) 研究の構想・立案、データの収集、あるいはデータの解析および解析結果の解釈のいずれかに実質的に貢献している。
- 2) 論文の原稿を書くか、その論文の内容に関わる極めて重要な校正・改訂作業(リバイズ)にかかわっている。
- 3) 掲載される最終版の原稿の中身を理解し、承認している。
- 4) 論文のあらゆる側面について、論文の正確性・真正性に疑義が寄せられたときに適切に説明することができる。

APRIN e-ラーニングプログラム(eAPRIN) <https://edu.aprin.or.jp/>

責任ある研究行為：基盤編(RCR 生命医科学系)

「オーサーシップ」p.9より抜粋(最終閲覧日2021年3月9日)